

令和8年度 第1回焼津市高齢者保健福祉計画推進協議会  
第1回焼津市介護保険運営協議会

- 1 日 時 令和8年5月25日（月）午後1時00分～午後2時25分
- 2 場 所 焼津市役所本庁舎 会議室1B
- 3 出席者 （委 員）石川英也会長、石田璃久磨副会長、袴田照義委員、  
服部里美委員、藁品均委員、中島忠男委員、村松晶子委員、  
渡邊啓子委員、福田幸夫委員、金城能子委員、小林一之委員、  
吉田靖基委員、大石智之委員  
（事務局）増井健康福祉部長、平岡健康福祉部次長、壁下市長戦略監、萩山介護保険課  
長、藪崎保険給付担当主幹、大村認定担当主査、鈴木保険給付担当主査、飯  
塚高齢者福祉課長、大畑地域包括ケア推進担当主幹、天野事業者指導担当係  
長、小長谷高齢者福祉担当係長、寺尾健康づくり課長、星野成人保健担当係  
長、松本国保年金課長、高川後期高齢者担当主幹  
（事業者）株式会社サーベイリサーチセンター（SRC）

4 内 容

- (1) 開会
- (2) 新委員紹介
- (3) 令和8年度職員紹介
- (4) 議事
- ①市の高齢化の現状と介護認定の状況について（報告事項）・・・資料1 資料2
- ②第10期ほほえみプラン21各項目の進捗状況について（報告事項）・・・資料3
- ③次期計画の施策体系案について（協議事項）・・・資料4 資料5
- (5) 今後のスケジュールについて
- (6) 閉会

【議事録】

開会	
事務局	新委員・事務局紹介
増井部長	（部長挨拶）
事務局	<p>ここで本日の委員の出欠状況をご報告いたします。本日は1名欠席されておりますが、焼津市介護保険運営協議会規則第5条により委員の過半数が出席しておりますので、本協議会は成立しております。</p> <p>事前にお送りした令和7年度第3回焼津市介護保険運営協議会についてですが、多くの委員からご意見をいただいております。いただいたご意見につきましては、今後の計画策定等において参考とさせていただきたいと思っております。</p> <p>藁品委員より、介護支援専門員アンケート調査に関してお問い合わせをいただいておりますが、介護サービスの供給量が足りないといったご意見については、次期計画策定の中で調査、検討してまいります。</p> <p>また、訪問介護が不足しているといったご意見がありましたが、訪問介護に従事す</p>

	<p>る人材を育成するため、今年度静岡福祉大学と連携して、初任者研修を無料で受講できるように進めております。</p> <p>それではここからは進行を石川会長にお願いします。</p>
	会議移行
石川会長	<p>(会長挨拶)</p> <p>それでは、議事に入ります。報告事項について事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>&lt;報告事項①市の高齢化の現状と介護認定の状況について&gt;【資料1】【資料2】</p> <p>&lt;報告事項②第10期ほほえみプラン21各項目の進捗状況について&gt;【資料3】</p> <p>以上について事務局説明</p>
石川会長	<p>皆さまのご意見・ご質問の前によろしいですか。</p> <p>介護人材の状況において、医療機関から介護度の見直しの提案が増加している理由について、どのように分析をしているのか聞きたいのですが。</p>
事務局（介護保険課）	<p>窓口まで申請に来られる方のお話を聞くと、「このサービスが利用したいというわけではないんですが、入院した結果、病院から今後必要になると思うのでということで勧められた」という方が最近かなり多くいらっしゃいました。</p> <p>具体的にサービスの内容がわからないままこちらへ申請に来てくださり、サービスについての詳細を説明してから申請されていくという方が多いので、その関係ではないかと思われます。</p>
石川会長	それは新規の申請のお話ではないですか。
事務局（介護保険課）	<p>もともと要支援1・2の方ですね。要支援1・2を受けている方の中には、サービスを利用されていない方がいて、そういった方々はサービスの内容について理解されていないと思うのですが、入院した結果、今後必要になると思われるということで、認定中の時にこちらへ申請に来られて、要介護認定区分変更申請を行うという形をとっています。</p>
石川会長	医療機関が悪いというわけではないのですね。
事務局（介護保険課）	そういうわけではないですね。
石川会長	介護認定については結果が出るまで1か月、2か月後ということでだいぶ遅くなっているようですが、介護認定調査員の必要数の確保は現状どのようになっていますか。
事務局（介護保険課）	<p>去年末頃から、もともと従事していた介護認定調査員が産休・育休に入ったり、体調を崩して途中で辞めた方などがいらっしゃいます。その方たちは基本的に1日（最大）3件ほど担当してくださっていました。突然辞めたりお休みされた場合はその部分に新しい方の募集をかけるのですが、いきなり1人で3件行くということは難しく、勉強するという形で以前からいる他の調査員と一緒に調査に行ってもらったり、勉強してもらったりする時間が発生し、(教える側と教わる側の)2人がフル活動して3件行くということが難しくなります。その関係で、少しずつ件数が減ってしまっているのが現状です。</p> <p>4月からはフルの人数になり、(勉強期間が終わり)今後6月からは新規で入っていただいた方々もフル活動をしていただく予定となっているので、今後は比較的良く</p>

	なってくるのではないかと思います。
石川会長	<p>人が入らない状況の中で、どんどん辞めたり休みになったりすると、また2か月後には募集のかけ直しという形になってしまいますので、またぜひ早めに介護認定調査員の募集をお願いします。</p> <p>それでは、何かご意見・ご質問はございますか。</p>
福田委員	<p>データにはなかなか現れにくいかもしれませんが、要介護認定について、例えば病气やけがで突然要介護4・5あたりに認定される方が一定数いらっしゃるのでしょうか。若しくは要支援の段階から比較的緩やかに重度化しているのでしょうか。</p> <p>大体のニュアンスで良いので教えていただければと思います。</p>
事務局（介護保険課）	<p>もともと要支援1・2の方々は、サービスを利用せずに要支援の認定を受けており、突然のけがや心臓・脳等の病气という形で入院して一気に要介護度が重度化する方と、もともと要介護認定の申請はしていなかったが、突然入院したことにより全く動けなくなってしまったという形で要介護認定を受ける方と2通りあると思いますが、どちら側かというのは検討したことがなかったため、今後確認してみます。</p>
福田委員	<p>意地悪なことを聞いてすみません。</p> <p>自治体の介護予防が比較的有効に作用していると緩やかに要介護度が重度化していくのですが、突発的な脳卒中や心臓疾患で半身不随になるなどの、突然要介護度が上がるケースについて、詳細なデータでなくてもおおむねの傾向がみえたら、介護予防が有効的に作用しているのか、それともなかなか実態にはついていけないのか把握できるのではないかと思います。</p> <p>また、入門的研修は私が担当させていただきますのでよろしくお願いします。</p>
石川会長	他にはありますか。
村松委員	<p>資料3による達成率について、数字だけでは私たち市民が判断することは難しいなと感じています。もしかしたら達成率は良くなかったけれど、内容としてはとても良く、利用者にとってはすごくありがたい施策だったりすることもあるのではないかなと感じました。</p> <p>私たちは様々な分野の人が集まってきているので、この場で私自身も現状を知りながら、市民目線で何ができるのだろうかということを考え、また少し先を進んでいくという形が良いなと思いつつ、現状を私たちが行政にお伝えしてお願いできることは何なのかを皆で共有できる時間にできたら良いなと感じているところです。</p> <p>私自身関わっていることで感じたことですが、批判ではないのでそのつもりで聞いていただければと思います。私はアクティブなシニアの方々に認知症予防の脳トレ講座等を年間120～130回実施しているのですが、最近は、焼津地域交流センターだけでなく、ふれあいの居場所やミニデイサービス等にも伺うことがあります。</p> <p>その中で、ころばん体操を活用されている方が多く、ころばん体操は内容もとても良いので喜ばしいことだと思っている反面、やはり自分に専門的な知識がある分、もったいないなと思うこともあります。こんなに良いものだから、使い方によってはより良くできるのに、少し中途半端であると感じています。</p> <p>具体的には、DVDを見ながらそれを真似して皆さんも同じように体操をしていますが、ほとんどの人が黙々と実施しています。DVDからは理学療法士が「1, 2,</p>

	<p>3, 4」とカウントしたり、声かけをしているので、それと同じように声を出しながら体を動かすことで、デュアルタスクによる脳の活性を図ることができます。そのあたりが、簡単にできることなのになかなかできていません。</p> <p>ころばん体操のフォローアップ等もあると思いますが、もう一度、専門でつくられた皆さんの目標内容を、行政側と利用者も合わせて皆でシェアしながら、せっかくの良いものをより良く活用していき、何か工夫していただけたらもっと広がっていくのではないかと少し残念に思っている部分があります。</p> <p>また、地域交流センターは高齢者が大勢利用されており、そこが集いの場になっていることはとても良いのですが、最近少し見え隠れしている現状があります。</p> <p>今すぐに解決できることではないので、今後10年くらい先までを見据えながら皆で考えていく問題かなと思うのですが、地域交流センターの生涯学習は基本的に元気な人が自分で歩いて通って学びをしているというところが主な中で、会場まで来る脚力はあるけれども、認知機能的に危うさを感じる方の参加もみられるようになりました。例えばお手洗い休憩に行き帰ると自分の席がわからなくなっていたり、行きは家族に送ってもらっても、帰りは家まで無事に帰れるのだろうか、大丈夫なのだろうか心配になるような方がいたりします。しかし、それを地域交流センターへ何かお願いするという事は難しいです。</p> <p>今は高齢者の皆さんがお互いに尊厳を尊重し合いながらさりげなくカバーしており、例えば講座の日に電話をしてくださったり、帰りに「一緒に帰ろう」と声をかけて家まで一緒に帰ったりというふうに、助け合いの中でやっていることが多いのですが、全てがそれでクリアできているかというところはどうなのだろうかということが心配です。</p> <p>今日出席されている委員の皆さまの中には、高齢者世代のコミュニティに関する役員をされている方もいらっしゃると思うので、他の場所ではどのような現状なのかを知りたいと思うところです。</p>
石川会長	<p>他にご意見等はございますか。</p> <p>それでは、協議事項について事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>&lt;協議事項③次期計画の施策体系案について&gt;【資料4】</p> <p>以上について事務局説明</p>
SRC	<p>&lt;協議事項③次期計画の施策体系案について&gt;【資料5】</p> <p>以上についてSRC説明</p>
石川会長	<p>ありがとうございました。今の説明につきまして、ご意見・ご質問はございますか。</p> <p>これをたたき台にして、次期計画に載せる形になります。よろしいでしょうか。</p> <p>今は、場合によっては130歳まで生きられますので、まだまだ人生は長いです。私たちが年をとった時にどうしてほしいのかということも踏まえた上で、この会議は成り立っていると思いますので、本日発言されていない委員の皆さまにも一言いただければと思います。</p>
渡邊委員	<p>普段薬局にいるため、在宅の患者に薬をお届けする機会が多いです。施設での問題点と在宅での問題点等を拝見しながら仕事をしています。在宅で最近気になっている方がいます。</p>

	<p>要介護度は要支援ですが認知症状が進んでおり、家のことはできても薬の管理ができておらず、様々な提案はさせていただくのですが、自分でやる形でないとな納得していただけないというケースがあります。</p> <p>要介護度等の数字ではみえない部分で、健康でいていただくための課題があるなと感じながら仕事をしています。次期計画では認知症に関する施策も変わっていくようですので、そういったところも踏まえて、個々での認知症の人の課題を拾っていただけるようなプランができれば良いと思います。</p>
金城委員	<p>アンケート調査結果を拝見して感じたことです。</p> <p>薬品委員のご意見の中で、「移動支援についても今後実現していくものと思われます」という一文がありました。要支援認定を受けている方がサービスを利用する時、買いたいものも自分で考えられるし、メモも取れて、実際は自分で選びたいのに、自分で行くのは大変なためヘルパーに頼まざるを得ない状況にある方がいらっしゃいます。</p> <p>社会福祉協議会も関わっていくべきですが、そういった移動支援についても介護保険外でできると良いなととても共感しました。</p>
小林委員	<p>先週、市内のケアマネジャーの総会が開催され、その後、意見交流会がありました。介護認定調査は結果が出るまでに時間がかかるという部分では、ケアマネジャーにも委託で認定調査を受けるという意向調査を毎年度いただいております、届け出を出しているケアマネジャーもいます。そういったケアマネジャーの委託を利用していただけると、少しは解決につながるのかもしれないという話題がありました。</p> <p>また、静岡市や神奈川県では、各々のケアマネジャーが担当している利用者の更新申請については、きちんとケアマネジャーの調査が行われていると聞きました。現場の声としては、急な状態変化に伴う要介護区分の見直しは、サービスを計画する側からすると、なるべく早めに対応していただきたいという希望があります。</p> <p>他市では、月の始まりから15日までの間は、要介護認定区分変更申請があった方についての調査を優先してとってくれる枠があると聞きました。参考にさせていただければと思います。</p>
吉田委員	<p>春先に、新聞で県内の特別養護老人ホームの待機者についての記事が出ており、焼津市は、県内でも待機者が多いという数字が出ていました。実際、この場でも前々からそういった話題も少し出てきているかなと思います。</p> <p>ショートステイは在宅介護者のレスパイト的な利用が本来の利用方法ではありませんが、状況的にロングで利用される方も多くなっています。それらを考えると、次期施設整備計画の中でも、ショートステイのベッドを特別養護老人ホームに転換していくなどの議論を、ここに参加されている先生方の知恵をお借りしながら進めていただくと良いのではないかと思います。</p> <p>もう1点、先ほど事務局からもあった、市内のデイサービスにおける整備数に対して利用数が少ないという状況がありますので、数量の規制も必要ではないかというお話も出ていました。デイサービスは素敵な仕事ですが、実際に従事されている職員の数は減少しており、新しいところがあれば、そこへ新しい職員が移ってしまいます。必要なサービスには必要数確保されているかなと感じていますので、こちらも皆</p>

	さまの知恵をお借りしながらご検討いただければと思います。
大石委員	<p>私の両親は80代の健康な高齢者で、一時期母親が病気を患い、体が動かしにくくなった時に玄関の段差に手すりをつけていただいたりはしましたが、それ以外は1人でできるという状況になりました。そのため、なかなか自分自身が介護現場に関わる機会がなくあまりぴんときていませんでしたが、本日このような資料を拝見して説明を聞いて、幅広く施策を展開されていて安心できるというのが第一印象でした。</p> <p>1点、質問してもよろしいですか。統計データ資料の中で、焼津市の要介護認定率が近隣市町や静岡県と比べて高かったり、サービス別受給率等の状況において、焼津市が近隣市町と比べて受給率が高いサービスがあるというのは、何か理由があるのでしょうか。</p>
事務局（介護保険課）	<p>あくまで私の考えになりますが、福祉用具や住宅改修を目的としていたり、タクシー券を目的として申請される方がいらっしゃいます。</p> <p>焼津市は要介護度が軽度の人が多く認定数としては多いかもしれませんが、早期に要介護認定の申請をしていただいているという見方もあるかと思えます。</p>
大石委員	数字自体は課題視する必要はないということですか。
事務局（介護保険課）	要介護度が重度の人が多い場合は問題があるかなとは思いますが、軽度で抑えられていると考えていただけると良いと思います。
中島委員	<p>詳細な統計データをまとめる取組をするのであれば、それが何を意味するのかなるべくわかりやすく市民に伝える努力も、同様にしていただければと思います。</p> <p>要望として、こうした計画等で何を市民にPRするのかについて、ぜひ注力していただきたいと思えます。その際は市民や法人を巻き込んで、皆が担い手となっていくような方向性ができるようなPRを積極的に強化していただければと思います。</p>
藁品委員	<p>基本方針2・3に該当する内容についてです。</p> <p>さわやかクラブでは寿大学を年5回実施しています。基本方針2の「さわやかクラブ（老人クラブ）活動への支援」に関する数値目標は「単位クラブ数」「さわやかクラブ会員数」の2項目ですが、これは市にとって残念な評価の仕方ではないかと思えます。</p> <p>去年、寿大学には大体会員数の5分の1である140人近くを受講生がいらっしゃいました。今年は受講生が増えました。つまり、学びの機会を得たいと考えているところだと思うので、そのような受講生が1割から2割ほど増加しているのはすごいなと思えます。</p> <p>なぜ増加したのかを私なりに考えてみました。総合福祉会館の3階にある多目的ホールへの移動手段を市で援助していただいているはずなのですが、今回は大型バス1台と、マイクロバス3台を使用したと聞いています。そのような部分に市がお金を出していただけていることに関してはありがたいと思ひ、今後も続けていただきたいです。バスの運転手に関しても、値上げしておりとてもお金がかかります。</p> <p>そのような中で移動手段を確保していただいているのはありがたいことですので、評価項目においても、そのような部分を目に見えるようにした方が良いのではないかと思います。行政の取組のことになるので宣伝にもなると思えます。下手に金額を抑えてしまうとあまり良くないところにバスを頼んでしまい、トラブルにつなが</p>

	<p>ることもあり得ますので、きちんと正規に依頼できるところで運用させていただいています。</p> <p>次に、基本方針3についてです。東益津地区で地域ささえあい協議体の取組が始まり、今年は大富地区で始まることになりました。1年前から準備していてなかなか進められなかったのですが、6月から始まります。これは社会福祉協議会や行政の担当課、地域包括支援センター、地域のボランティアに参加していただき、ちょっとした困りごとに対して周囲の人が助け合って解決していこうというものになります。ぜひ広報にも載せていただきたいですが、そういった取組についても、PRしていただけると嬉しいです。</p>
服部委員	<p>要介護認定を受けておらず、90歳以上で元気で健康だけれど、孤立している高齢者がいます。</p> <p>女性はコミュニケーションをとったり仲間の輪に入ったりすることはできると思いますが、ひとり暮らしで元気な方の中にも、家の中ではテレビが友達という方や、外へはちょっと散歩に出る程度でしか動いていないという方がいると聞いているのですが、そういった方へのフォローはしていただけないのでしょうか。</p> <p>民生委員としてはそういった世帯によく行くようにはしているのですが、頻繁に伺うと、健康で元気な方だと「何しに来たの」と言われてしまうこともあるので、見守り程度にお伺いしているのですが、そのような高齢者に対する支援は考えていますか。</p>
事務局（高齢者福祉課）	<p>元気のレベルがどこまでかはわからないのですが、各中学校区に地域ささえあい協議体をつくり、地域で足りないものや困っていることを話し合い、改善していくという取組を進めています。</p> <p>東益津地区では、住民主体の生活支援サービスが立ち上がり、大富地区でも今年度立ち上がりますが、それ以外にも、地域の集いの場や取組をしてくださっているところがあります。例えば、港地区では70歳以上の方も受け入れる（ウォーキング）サッカー活動があったり、東益津地区ではカフェの中で麻雀をやっているというものがあります。</p> <p>そういったものを地区の中でお知らせし、身近に利用できるようにと進めているところですが、孤立されている方になかなか情報が行き渡らないことが課題だと感じています。</p>
袴田委員	<p>私は世帯人数4,000人の自治会に所属しているのですが、やはりひとり暮らしをしている高齢者はいます。中には介護保険料を納めていない人もいます。介護保険制度は安心して年をとることができるというすばらしい制度であるという印象があるのですが、介護保険料を納めていない人は今後どうなるのかという心配があります。</p> <p>私の家庭では人に迷惑をかけない、この年代では病気にならない、健康第一だと言われて育ってきましたので、やはりきちんとした運動の取組等には参加していくべきではないかと常々考えています。</p>
石田副会長	<p>介護保険に関わるこのような会議に歯科医師が出席させていただくというのはとても大きな意味があると考えています。正直、この20年以上の中で、歯科医師が介護保険に関わる場所に少し追いついていないと感じています。</p>

	<p>私は、訪問診療でケアセンターゆうゆうや特別養護老人ホームつばさ、大富陽光園などに伺う機会があるのですが、やはり口腔内の健康は身体に大きく影響するととても強く感じる一方で、そこに携わる歯科医師がとても少ないです。</p> <p>現在、焼津市内の歯科医院は60軒弱あるのですが、訪問診療を行っている先生は10名もいません。さらに、介護保険が適用できる歯科のサービスはあるのですが、とにかく歯科業界は人気がなく、なり手が減少しています。焼津市の歯科医師会も同様で、衛生士は求人を出しても全く来ず、歯科医師会の会員は半数以上が60歳以上で、今後10～20年経ったら、市民が歯科を受診したくてもできない、歯が痛くても受診まで1か月先になってしまうという人が出てくる状況が目の前に来ています。</p> <p>そのような中で、訪問診療に携わる歯科医師を増やしていくというのは私たちの大きな課題ではあるのですが、なかなかそういうところに賛同を得られないというのがとても苦しい立場にいると感じています。会議に出席させていただくたびに、施設入所者や在宅生活者が健康になれるお手伝いをしていこうと毎回考えるのですが、やはり日々の業務が忙しく、そこまで手が回らないと言われてしまうことが多いです。私は何年もこの会議に出席させていただいているので、きちんと歯科医師会が貢献できるように、これからも努力していかなければならないと思います。</p> <p>うまく話すことができない人や入れ歯がない人、口腔内が健康になればもっと元気に生活できると考えられる人がいれば、歯科医師会に要望いただければ、責任持って訪問診療に行けるドクターを探したり、私が伺いますので、そういった情報を提供していただければと思います。</p>
	今後のスケジュールについて
事務局	<p>&lt;今後のスケジュールについて&gt;【資料6】</p> <p>以上について事務局説明</p>
事務局	<p>最後に、ご報告があります。</p> <p>現在の計画期間中にグループホーム3ユニットを開設することとして、株式会社権兵衛を選定しておりましたが、今般の世界情勢による物価高騰の影響を受け、整備費用が著しく増加したことから整備計画延期の申し出がありました。本件については、やむを得ない事情であると考え、現在の計画期間中での整備は見送り、次期計画に引き継ぐ予定です。</p>
閉会	